

海軍公報 第二千五百九十號

昭和十年十月十四日(月)
海軍大臣官房

○令達

官房第四三三一號

來十七日神嘗祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ベシ

昭和十年十月十四日

海軍大臣

一、午前九時三十分賢所參集所へ參集スベキ者

親任官、勅任官同待遇

一、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スベキ者

奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スベキ者

位勳ヲ有セザル判任官同待遇

服裝 正裝、大禮服

○雜款

○郵便物閉塞交換開始
特務艦鶴見今次北米方面行動中同艦下横濱郵便局ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ行フ
(海軍省副官)

○宿所變更

海軍航空本部總務部長 海軍大佐 塚原二四三宅
世田谷區羽根木町一八五五

○海軍部内及關係各部ニ於ケル振替貯金口座番號表中「海軍省教育局」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
海軍航空本部總務部 東京五二二九九
(昭和七年十月七日公報附錄參照)

○學生入校期日

十一月一日任命豫定ノ本校高等科學生並ニ選修學生ハ同七日迄ニ入校セシメラレ度
(海軍軍醫學校)

○乘艦者健康診斷及檢便ノ件依頼
來十月十四日以後御召艦特別任務終了迄ノ間ニ本艦ニ

0503

海軍公報 第二千五百九十號 昭和十年十月十四日

一〇四六

轉勤若ハ臨時乘艦スル者(准士官以上、下士官兵、雇
傭人)ニ對シテハ特ニ健康診斷及檢便施行ノ上乘艦セ
シメラルル様御配慮ヲ得度
(比 叡 艦 長)

○正誤

○(齊)

本月十一日辭令欄仲野綱吉ノ辭令文中「囑記」ハ「囑
託」ノ誤

○艦船所在

指[▲]定[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

○十月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、夕張、八雲、春日、

比叡、最上、三隈、▷赤城、那珂、木曾、

淀、▷山口、五十鈴、▷多摩、▷鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、▷鳳翔、神威、

沖風、矢風、峯風、▷湖、龍、曙、▷有明、

夕暮、▷響、雷、電、▷漣、曉、狹霧、

▷松風、朝風、春風、旗風、

▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、伊六、

▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、

富士▲、尻矢、青島、洲崎、鳴戸、

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】 嚴島

▷秋風、太刀風、羽風、帆風、▷天霧、朝霧、

▷呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五八、

▷呂五七、呂五九、伊二三

【浦賀】(時雨)、(五月雨)

【館山】 澤風▲

▷波風、野風、沼風、神風、夕霧、初雪

大泊

【吳】 長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、伊勢、勝力、

白鷲、大鯨、大井、扶桑、▷青葉、衣笠、

古鷹、▷神通、長鯨、龍驤、▷天龍

▷夕顔、菊、葵、▷白雲、薄雲、叢雲、▷綾波、

敷波、浦波、▷東雲、磯波、吹雪

▷呂一七、▷呂一八、▷呂一九、▷呂五一、

▷呂五三、▷呂六八、▷呂六三、▷呂六四、

▷呂二七、▷呂二八、▷呂三三、▷伊二一、

▷伊二二、▷伊五二、▷伊五一、▷伊五八、

▷伊五七、▷伊五六、▷伊六八、▷伊六九、

▷伊五四、▷伊五三、▷伊五五

▷掃七、▷掃八、▷掃一〇、▷掃一六、▷掃一五、

▷掃一三、▷掃一四

石廊、攝津、朝日、襟裳、室戸、間宮

(伊七)

【大阪】 加古▲

(村雨)、(掃一七)

【神戸】 (伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【玉】 (掃一八)

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻▲、鬼怒

▷若竹、早苗、吳竹

▷呂二六

(春雨)、(鴻)

【佐世保】 加賀▲、霧島、宇治、常磐、八重山、妙高、

那智、羽黑、足柄、迅鯨、能登呂、▷榛名、

▷長良、名取、▷阿武隈、▷由良、川内、

▷北上

梨、竹、樵、桃、柳、櫻、檜、
 菊月、夕月、望月、彌生、如月、卯月、
 水無月、皐月、疾風、追風、朝風、夕風、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂三三、呂六六、呂六七、呂六八、
 伊六六、伊六七、伊六〇、伊五九、
 伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、
 初雁、真鶴、千鳥、友鶴、
 敷島、早瀬、鶴見、佐多、野鳥、
 (白露)、(伊七〇)

【長崎】出雲
 【馬公】沙風、夕風、島風、灘風
 【鎮海】葦、菱
 【旅順】蔦、藤、薄、萩
 【青島】球磨
 【上海】磐手
 【南京】榭
 【漢口】安宅、二見、鳥羽、比良、栗

【宜昌】熱海
 【馬尾】芙蓉
 【汕頭】龍田

【廣東】
 マニラ 嵯峨
 作業地 隱戸
 駒橋
 伊二四 膠州

【航海中】
 堅田 (十三日宜昌發―重慶へ)
 保津 (十三日南京發―上海へ)
 淺間 (十三日大阪發―吳へ)
 浦風 (十三日上海發―九江へ)
 白雪 (十三日横須賀發―吳へ)
 睦月 (十三日横須賀發―佐世保へ)
 知床 (十三日吳發―佐世保へ)
 勢多 (十四日漢口發―長沙へ)
 掃九 (十四日吳發―佐伯へ)

(部内限二頁)

海軍公報 第二千五百九十一號

昭和十年十月十五日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第四三三三號

本年七月及八月勤務ノ爲召集セラレタル海軍豫備士官ニシテ現役ニ服スルコトヲ志願スル者ノ願書提出期
考課表調製並ニ進達期日及任用試験ニ關シ左ノ通

昭和十年十月十四日

海軍大臣

記

- 一、願書提出期日 十月三十日
 - 一、考課表調製期日 十一月一日
 - 一、考課表海軍大臣ニ進達期日 十一月十日
 - 一、試験期日及課目 學術試験
- 數學(代數、平面三角) 十一月十四日(木)午前
英文和譯(微積分) 同 日 午後

軍事學 十一月十五日(金)午前
作文 同日 午後
航海術、海洋氣象學及運用術
機關學及電氣工學(豫備少尉ノミ)
豫備機關少尉ノミ
最終試験 十二月中旬

○通牒

昭和十年十月十五日

海軍大學校

在京各廳高等官御中
來十月三十一日(木曜日)
天皇陛下ノ御臨幸ヲ仰ギ本校第三十九回卒業式ヲ舉行
可致候間午前九時二十分迄ニ御來校被下度此段御案内
申上候

服裝 武官ハ通常禮裝
文官ハ通常服(フロックコート又ハモーター
ングコート)

海軍公報 第二千五百九十一號 昭和十年十月十五日

○訓令

海軍省出仕海軍主計中佐 堤 恭二
海軍省經理局ニ於テ服務スヘシ(十月五日海軍大臣)

○辭令

渡部 一衛
海軍大臣官房ニ於ケル事變關係事務囑託ヲ解ク(十月五日海軍大臣官房)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十一驅逐隊司令ハ本月十日司令驅逐艦ヲ一時初雪ヨリ白雪ニ變更セリ

○軍艦羽黒行動豫定

地名 着
佐世保 十月十四日 發
長崎 十月十四日

○軍艦木曾行動豫定

地名 着 發
横須賀 十月十八日 十月十六日
大湊 十月十八日 二十日
舞鶴 二十三日 二十四日
室蘭 二十六日 二十七日
横須賀 二十九日

○郵便物發送先

軍艦羽黒宛 長崎
自今

軍艦鬼怒宛 大湊
十月十九日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ 新舞鶴

軍艦木曾宛 大湊
十月十九日迄ニ到達見込ノモノハ
同 二十三日迄ニ 同 舞鶴
同 二十六日迄ニ 同 室蘭
其ノ後ハ 横須賀

驅逐艦睦月宛 佐世保
自今

○事務所設置
第十二潜水隊事務所ヲ本月十日軍艦大鯨内ニ設置セリ

○學生着任期日
十一月一日任命セラルベキ本校各種學生ハ十一月十一日(月)午前十時入校式施行ニ付十一月九日(土)迄ニ着任セシメラレ度

(海軍大學校)

○軍艦能登呂ノ呼稱ニ關スル件照會
首題ノ件ニ關シテハ昭和九年內令第二百二十號ヲ以テ帝國軍艦籍ニ編入セラレアル處依然トシテ公文書類中「特務艦能登呂」又ハ「能登呂特務艦長」等ト記載スル向有之處務取扱上ノ不注意ト認メラルモ法規上定メラレタル名稱ヲ呼稱スルハ事務取扱上ニ於テ緊要ノコトナリト存セラレ候條爲念及通牒候
(軍艦能登呂)

豫備役海軍中佐從五位勳五等 矢部 勇一 昨十三日卒去、明十六日午後五時佐世保市八幡町西方寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀執行

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月十五日前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、夕張、八雲、春日、
 駒橋、比叡、最上、三隈、赤城、那珂、
 木曾、淀、尸山城、五十鈴、多摩、
 尸鳥海、高雄、摩耶、愛宕、鳳翔、神威、
 沖風、矢風、峯風、太刀風、帆風、潮、
 朧、曙、有明、夕暮、響、雷、電、
 漣、曉、狹霧、松風、朝風、春風、旗風、
 伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六、
 伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、
 富士▲、尻矢、青島、洲崎、鳴戸、
 (鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

嚴島
 秋風、羽風、天霧、朝霧
 呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
 呂五七、呂五九、伊二三

【浦賀】

(時雨)、(五月雨)
 澤風▲
 夕霧、初雪

【館山】

大泊
 長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、伊勢、勝力、
 白鷹、大鯨、大井、扶桑、青葉、衣笠、
 古鷹、神通、長鯨、龍驤

【吳】

大泊
 長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、伊勢、勝力、
 白鷹、大鯨、大井、扶桑、青葉、衣笠、
 古鷹、神通、長鯨、龍驤

尸夕顔、菊、葵、尸白雪、尸白雲、薄雲、叢雲、
 尸綾波、敷波、浦波、尸東雲、磯波、吹雪、
 呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
 呂五三、尸呂六八、呂六三、呂六四、
 呂二七、呂二八、呂三三、尸伊二一、
 伊二二、尸伊五二、伊五一、尸伊五八、
 伊五七、伊五六、伊六八、尸伊五四、
 伊五三、伊五五

掃七、掃八、掃一〇、尸掃一六、掃一三、
 石廊、攝津、襟裳、室戸、間宮、
 (伊七)

【大阪】

加古▲
 (村雨)、(掃一七)

【神戸】

(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【玉】

(掃一八)

【江田内】

平戸

【伊豫灘】

天龍

【三津濱】

伊六九

【舞鶴】

吾妻▲、鬼怒

【佐世保】

若竹、早苗、吳竹

【春雨】、(瀧)

呂二六

【霧島】

字治、常磐、八重山、妙高、
 那智、足柄、迅鯨、能登呂、榛名、長良、
 名取、阿武隈、由良、川内、北上

梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、
 菊月、夕月、望月、
 水無月、阜月、
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六六、呂六五、呂六七、
 伊六六、伊六七、伊六〇、伊五九、
 伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、
 初雁、真鶴、千鳥、友鶴、
 敷島、早鞆、鶴見、佐多、野島、知床、
 (白露)、(伊七〇)、
 長崎、出雲、羽黒、
 馬公、沙風、夕風、島風、灘風、
 鎮海、董、葦、菱、
 旅順、葛、藤、薄、萩、
 青島、球磨、
 上海、磐手、保津、
 南京、榊、
 漢口、安宅、二見、鳥羽、比良、
 栗、
 宜昌、熱海、
 馬尾、芙蓉、
 汕頭、龍田、

【廣東】 朝顔、刈萱、
 【作業地】 伊二四、
 掃一五、掃一四、
 膠州、朝日、
 蓬、蓼、

【航海中】
 堅田 (十三日宜昌發―重慶へ)
 淺間 (十三日大阪發―吳へ)
 浦風 (十三日上海發―九江へ)
 陸月 (十三日横須賀發―佐世保へ)
 勢多 (十四日漢口發―長沙へ)
 隱戸 (十四日「マニラ」發―徳山へ)
 掃九 (十五日野風、沼風、神風、
 十五日大湊發―函館へ)
 掃九 (十五日佐伯發―吳へ)

(部内限二頁)

海軍公報 第二千五百九十二號

海軍大臣官房

昭和十年十月十六日(水)

○令達

官房第四三七八號

來十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ニ付當日名古屋港在泊軍艦ニ於テハ午前八時ヨリ日没迄滿艦備午後八時遙拜式終ツテ訓話其ノ他ノ艦船部隊學校ニ於テハ午前九時十五分遙拜式終ツテ訓話ヲ行フベシ

昭和十年十月十六日

海軍大臣

○通牒

官房第四三七九號

昭和十年十月十六日

海軍省副官

各廳長殿

官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ニ付

休暇ノ件通牒

來十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ニ付當日諸官員ニ休暇ヲ賜フ旨仰出サレ候處右ハ部内一般ニ休務ノ義ト御了知相成度爲念

(十月十二日官報内閣告示第五號參照)

航本第三一〇九號

昭和十年十月十五日

海軍航空本部

部内各廳御中

航空參考資料輯録頒布ニ關スル件照會

近ク首題輯録第十號ヲ刊行個人要望者ニモ頒布致スベクニ付左記御承知ノ上希望ノ向ハ各廳毎ニ取纏メ當部(御通知相成度

記

一、代 價 一部七拾錢(送料共)

一、刊行豫定期日 十一月十五日

一、申込期限 十月末日

海軍公報 第二千五百九十二號

昭和十年十月十六日

一〇五五

一、送金ハ申込ト同時ニ海軍航空本部
總務部宛送付ノコト
(振替口座東京五一二九九番)

○ 辭令

海軍機關大尉 銚立 毅
昭和十年十月施行ノ海軍機關學校生徒採用試験臨時
委員ヲ免ス

同 池上 喜次

昭和十年十月施行ノ海軍機關學校生徒採用試験臨時
委員ヲ命ス(以上計海軍省)

海軍主計大佐 桑久保 俊次

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ
命ヲ承ケ服務スヘシ(計海軍航空本部)

○ 雜款

○司令潜水艦指定
第十二潜水隊司令ハ本月十日司令潜水艦ヲ伊號第六
十九潜水艦ニ指定セリ

○事務所移轉
第二十八潜水隊事務所ヲ本月十三日ヨリ當分ノ間佐世
保防備隊内ニ移轉ス

海軍大佐正五位勳三等平野六三本月十二日卒去、
明後十八日午後二時吳市倉本通十四丁目濟京寺説
教所ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

○艦船所在

○十月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、夕張、八雲、春日、駒橋、比叡、三隈、赤城、那珂、山城、五十鈴、多摩、口島海、高雄、摩耶、愛宕、鳳翔、神威、沖風、矢風、峯風、太刀風、帆風、潮、隴、曙、有明、夕暮、響、雷、電、漣、曉、狹霧、松風、朝風、春風、旗風、伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六、伊六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、富士、尻矢、青島、洲崎、鳴戸、(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

巖島、秋風、羽風、天霧、朝霧、呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、呂五七、呂五九、伊二三

【浦賀】

【館山】

【三見】

【鳥羽】

【大湊】

【函館】

澤風、伊二四、夕霧、初雪、大泊、波風、野風、沼風、神風

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向、伊勢、勝力、白鷹、大鯨、大井、扶桑、青葉、衣笠、古鷹、神通、長鯨、龍驤、夕顔、菊、葵、白雪、白雲、薄雲、叢雲、綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂六八、呂六三、呂六四、呂二七、呂二八、呂三三、呂三一、呂二二、伊五二、伊五一、伊五八、伊五七、伊五六、伊六八、伊五四、伊五三、伊五五、掃七、掃八、掃一〇、掃九、掃一六、掃一三、石廊、攝津、襟裳、室戸、間宮、(伊七)

【大阪】

【神戸】

【神戶】

【玉】

【江田内】

【伊豫灘】

【三津濱】

【舞鶴】

加古、(村雨)、(掃一七)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)、(掃一八)、平戸、天龍、伊六九、吾妻、若竹、早苗、吳竹、呂二六

海軍公報 第二千五百九十二號

昭和十年十月十六日

一〇五七

【佐世保】

(春雨)、(鴻)

加賀▲霧島、宇治、常磐、八重山、妙高、那智、足柄、迅鯨、能登呂、▽榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良、川内、▽北上、梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、▽三日月、菊月、夕月、望月、▽如月、彌生、卯月、陸月、▽初霜、初春、子日、若葉、▽長月、文月、水無月、皁月、▽疾風、追風、朔風、夕風、▽楡、柿

呂二五、 呂二九、 呂三〇、 呂三一、 呂三二、 呂六〇、 呂六一、 呂六二、 呂六六、 呂六五、 呂六七、 伊六五、 伊六六、 伊六七、 伊六〇、 伊五九、 伊六三、 伊六一、 伊六二、 伊六四

▽初雁、真鶴、千鳥、友鶴、敷島▲、早鞆、鶴見▲、佐多▲、野島、知床

(白露)、(伊七〇)

【長崎】 出雲、羽黒

【馬公】 沙風、夕風、島風、灘風、▽芙蓉

【鎮海】 葦、葦、菱

【旅順】 葛、藤、薄、萩

【青島】 球磨

【上海】 磐手、保津

【南京】 柁

【漢口】 安宅、二見、鳥羽、比良

【宜昌】

栗 熱海

【汕頭】

龍田

【廣東】

朝顔、刈萱、▽蓮、蓬、蓼

【作業地】

掃一五、掃一四、膠州、朝日

【航海中】

堅田 (十三日宜昌發—重慶へ)

淺間 (十三日大阪發—吳へ)

浦風 (十三日上海發—九江へ)

勢多 (十四日漢口發—長沙へ)

隠戸 (十四日「マニラ」發—徳山へ)

鬼怒 (十五日舞鶴發—大湊へ)

最上 (十六日館山發—横須賀へ)

木曾 (十六日横須賀發—大湊へ)

(號外六頁及一頁、附錄三頁、部内限二頁)

海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和十年十月十六日(水)

○達令

官房第四三五三號

診療費計算規程中左ノ通改正ス

昭和十年十月十五日

海軍大臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表)

藥 治 料

- 五點
- 一 點 內服藥 (二劑一日分)
- 一 點 頓服藥 (二回分)
- 一 點 含嗽藥 (二劑)
- 一 點 洗滌藥 (二劑)
- 一 點 罨法藥 (二劑)
- 一 點 浴藥 (二劑)
- 一 點 塗布藥 (二劑)
- 一 點 撒布藥 (二劑)

- 一 點 膏藥 (一劑)
- 一 點 坐藥 (一劑)
- 一 點 點眼藥 (二劑)
- 一 點 點耳藥 (二劑)

(藥品容器代フ含ム)

文 書 料

健康保險事務ニ關スル證明書意見書料ハ之ヲ

無料トス

處方箋料

檢 査 料

- 二 點 處方箋料
- 八 點 ツツセルマン氏反應檢査(採血料ヲ含マズ)
- 三 點 ウイダール氏反應檢査
- 二 點 採血料(靜脈)
- 五 點 腰推穿刺料
- 八 點 腦脊髓液全檢査
- 二 點 尿、糞便、喀痰顯微鏡的檢査
- 五 點 血液顯微鏡的檢査

海軍公報 號外

尿化學的検査	定性 二點	破傷風血清注射	三〇點
胃竇ニ十二指腸液検査	五〇點	處置料	
細菌學的培養検査	五〇點	外科處置綑帶交換料	一六點
組織診斷的切除料	五點	皮膚科處置料	一六點
組織顯微鏡的検査	五〇點	産科、婦人科處置料	一五點
レントゲン検査 <small>透視 撮影</small>	一〇一三〇點	泌尿器科處置料	一五點
食道ブリー検査	三點	眼科處置料	一四點
喉頭、氣管、食道、直達鏡検査	一〇點	耳鼻咽喉科處置料	一四點
直腸鏡検査	五點	胃洗滌料	四點
尿道鏡検査	五點	洗腸料	二點
膀胱鏡検査	一〇點	洗腸料	三點
輸尿管カテテリスムス	二〇點	導尿管料	二四點
腎機能検査	五〇點	瀉血法	三點
血型検査	五點	應急的人工呼吸	一〇點
視力、視野検査	三點	切開及外傷治療	小 一五點 中 六一點 大 一三〇點
注 射 料 <small>(藥液ノ價ヲ含ム)</small>		物理的療法	
皮下又ハ筋肉注射	二點	電氣療法	一〇點
リングル氏液、生理的食塩水注射	一〇點	レントゲン療法 <small>表面治療 深部治療</small>	一五〇點
葡萄糖液注射	一〇一五點	マツサージ	一四〇點
靜脈内注射	三一五點	熱氣浴	一二點
連鎖狀球菌血清注射	二五點		

藥湯浴
手術料

下顎骨骨折	三〇—五〇點
下顎骨脫臼整復術	三—五點
顏面整形術	一〇—五〇點
拔牙術	二點
頸推伸展術	一〇點
氣管縫合術	三〇點
肋骨切除術	三〇—七〇點
肋骨骨折固定術	三—一〇點
膿胸切開術	三〇—五〇點
肋膜穿刺術	五—一五點
人工氣胸術	一五—四〇點
脊推ギプス繃帶	三〇—五〇點
脊推、骨盤觀血の手術	八〇點
鎖骨骨折固定術	五—二〇點
脊推脫臼整復術	一〇—五〇點
流注膿瘍穿刺排膿	五—一五點
ギプス床	五〇點
瘻丸摘出術	五〇點
臍縫合術	一〇—二〇點

骨髓炎手術	一〇—八〇點
骨折觀血の手術	三〇—八〇點
復雜骨折手術	二〇—三〇點
四肢ギプス繃帶	三〇點
神經縫合術	五—二〇點
四肢脫臼整復術	三—一〇點
瘰癧手術	一〇—二〇點
指趾關節離斷術	六〇點
股關節ギプス固定繃帶	一〇點
股關節強直伸展術	二〇—五〇點
股關節脫臼整復術	二〇點
アヒレス腱切斷術	三〇點
アヒレス腱縫合術	八〇點
輸血術	三〇—七〇點
植皮術	八〇點
足關節離斷成形術	三〇—五〇點
急性化膿性股關節炎切開	一〇—二五點
急性化膿性膝及足關節炎切開	二〇—三〇點
手足骨剔出術	一〇—一五〇點
瘻痕斂縮整形術	五—一〇點
鼓膜切開術	五—一〇點

海軍公報 號外

衄血止血術	三一五點	胸廓整形術	一一〇點
喉頭氣管切開術	五〇一八〇點	癩痕ヘルニア根治術	一一〇點
眼窩手術	二〇一五〇點	人工肛門造置術	一五〇點
眼球手術	二〇一五〇點	四肢切斷術	一一〇點
眼球內容除去術	五〇一八〇點	四肢關節離斷術	一一〇點
眼瞼手術	一〇一六〇點	四肢關節切斷術	一七〇點
淚器手術	二〇一五〇點	關節離斷手術	二〇〇點
眼內異物摘出	一一二〇點	股關節離斷手術	二〇〇點
虹彩手術	二〇一五〇點	動脈瘤手術	一八〇點
尿道ブリーヂ挿入術	一一五〇點	胃造瘻術	一五〇一三〇點
誘導ブリーヂ挿入術	五一一〇點	胃腸吻合術	二五〇一三〇點
尿道狹窄手術	二〇一八〇點	胃内異物摘出術	二〇〇一三五〇點
尿瘻手術	五〇一八〇點	胃切除術	三五〇點
膀胱穿刺術	一五〇點	腸吻合術	二〇〇一三〇點
陰莖切斷術	五〇點	破裂腸管縫合術	二〇〇一三五〇點
百點ヲ超ユル手術		腸切除術	二〇〇一三五〇點
穿顱術	一八〇點	腸内異物摘出術	二〇〇一三五〇點
硬腦膜血管結紮術	二〇〇點	腸管閉塞手術	一五〇一三〇點
下顎骨切除術	一一〇點	急性腹膜炎手術	一一〇一三〇點
上顎骨切除術	二五〇點	腸間膜損傷手術	二〇〇點
肺膿瘍手術	二〇一三〇點	膽囊摘出術	三〇〇點

膽囊造瘻術	一五〇點	齒 限 炎	二・二點
急性腮腺炎手術	一一〇—一五〇點	口内炎、舌炎	二・二點
脾臟手術	二五〇點	口腔内消炎手術 一箇所ニ付	四・五點
頸靜脈結紮術	一一〇—一五〇點	齒齦腫瘍、齒槽膿瘍、口蓋膿瘍ノ切開手術	二・二點
喉頭内手術	一一〇點	右後處置料 一回ニ付	二・二點
食道内手術	一一〇點	外科後處置料	二・二點
喉頭摘出術	二五〇—三〇〇點	洗滌塗布	一・八點
眼球摘出術	一一〇—一五〇點	タンボン交換	二・二點
硝子體內異物摘出術	一一〇—一五〇點	其ノ他	三・五點
白内障摘出術	一一〇—一五〇點	拔牙術 一齒ニ付 前白齒	五・五點
腎臟摘出術	二〇〇—三〇〇點	充 鎖 一齒ニ付	八點
膀胱内手術	一一〇—二〇〇點	ゴム床義齒 一床一齒ニ付	九點
膀胱全摘出術	三五〇點	金 鈎 一個ニ付	四點
輸尿管移植術	二〇〇—三〇〇點	ウキブラ鈎 一個ニ付	一三・五點
攝護腺摘出術	二〇〇—三〇〇點	陶齒冠繼續齒 二齒ニ付	一〇點
齒 科	二・二點	白齒金冠 一齒ニ付 大白齒	三六點
治 療 一齒一回ニ付		内服藥 一日分	八〇點
一、齶齒外傷其ノ他ノ硬組織病、貼藥、假封、覆罩、		頓服藥 一回分	六〇點
拔髓、根管ヲ治療及充填其ノ他治療ヲナス患齒ニ			一・八點
基因スル齒髓病並ニ齒根膜炎及口腔内ノ瘻孔ノ處			
置ヘ膿滯ノ治療ヲ除ク)			
二、智齒難生			
貼藥、塗布及齒齦辨ノ處置			

海軍公報 號外

0520

海軍公報 號外

六

含嗽藥	四〇〇瓦ニ付	一・五點	容器ヲ必要トスル場 合ハ一回ニ限リ容器
卷方法藥	四〇〇瓦ニ付	一・五點	代フ食ム
處方箋料		一・五點	
綑帶材料	簡易ナルモノ 三角巾ヲ使用スルモノ 卷綑帶ヲ使用スルモノ	三・二點 三・二點 四・五點	

海軍公報 號外

昭和十年十月十六日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房第四三八〇號

昭和十年十月十六日

海軍次官

各所屬長官殿

國體明徴ニ關シ政府聲明ノ件通知

首題ニ關シ左記ノ通内閣書記官長ヨリ通牒有之候

記

内閣閣印第八〇號

昭和十年十月十五日

内閣書記官長 白根 竹介

海軍次官 長谷川 清殿

通牒

本日別紙ノ通聲明相成候條御了知相成度

(別紙)

曩ニ政府ノ國體ノ本義ニ關シ所信ヲ披瀝シ以テ國民ノ

海軍公報 號外

嚮フ所ヲ明ニシ愈々其精華ヲ發揚センコトヲ期シタリ
抑、我國ニ於ケル統治權ノ主體カ、天皇ニマシマスコ
トハ我國體ノ本義ニシテ帝國臣民ノ絕對不動ノ信念ナ
リ帝國憲法ノ上諭並條章ノ精神亦茲ニ存スルモノト拜
察ス然ルニ漫リニ外國ノ事例學說ヲ援イテ我國體ニ擬
シ統治權ノ主體ハ、天皇ニマシマスシテ國家ナリト
シ、天皇ハ國家ノ機關ナリトナスカ如キ所謂天皇機關
說ハ神聖ナル我國體ニ戻リ其本義ヲ愆ルノ甚シキモノ
ニシテ嚴ニ之ヲ芟除セサルヘカラス政教其他百般ノ事
項總テ萬邦無比ナル我國體ノ本義ヲ基トシ其真髓ヲ顯
揚スルヲ要ス

政府ハ右ノ信念ニ基キ茲ニ重ネテ意ノアルトコロヲ闡
明シ以テ國體觀念ヲ愈々明徴ナラシメ其實績ヲ收ムル
爲全幅ノ力ヲ效サンコトヲ期ス

海軍公報附錄

海軍大臣官房

昭和十年十月十六日(水)

本邦駐在外國海軍士官名簿 (昭和十年十月十五日調)

國別	職	官	勳	氏名	現官任命年月日	着任年月月	宿所	家族
蘇	大使館附官	大當官佐		A. Kovaloff		昭和七〇〇 (解任豫定年月)	麻布、狸穴、一蘇國大使館(赤坂一三八)	夫人
蘇	輔佐官	相當官佐		K. Gantlich		同 一〇五	同 右	夫人
英	大使館附官	大、佐		J. G. P. Vivian	昭和三六〇	同 (一八三)	赤坂、臺、一五七(七六〇)	夫人
英	輔佐官	機關中佐		G. C. Ross	同 七三三	同 (一一八)	澁谷、原宿、二ノ二七〇(青山一二二七)	夫人
英	駐在	大尉		C. H. Holmes	同 四三一	同 (一一七)	芝公園一二號地四	
英		主計大尉		J. P. Mc Intyre	同 三二一	同 (一一三)	牛込、新小川、江戸川アパートメント	
英				A. E. N. Merry	同 六〇一	同 (二九六)	牛込、二十騎、三二一	
英				K. Forman	同 六九〇	同 (一一六)	麻布、筭、二八岡田方	
英		機關大尉		L. B. Sharnan	同 七〇一	同 (一〇六)	澁谷、青山糴田、一ノ二六	

海軍公報附錄

米	大使館附官	大佐	F. F. Rogers	昭和六九一	昭和(二、八九)	赤坂、榎坂、(赤坂、一五七)	夫人
米	輔佐官	少佐	R. A. Olsfie	同七、六三〇	同(三、九)	澁谷、金玉、(一、二一長井) 邸内(青山、一四七四)	
米	同	大尉	E. Watts	同八、七二四	同(三、一〇、三、四)	麻布、龍土、(一、一) (青山、三七〇六)	夫人
米	駐在	中尉	M. M. Riker	同五、六二	同(二、一〇)	赤坂、新坂、四八	
米	同	同	M. R. Stone	同五、六二	同(三、一一)	同右	
米	同	同	J. Finnegan	同六、六七	同(三、一一)	澁谷、鉢山、(一、三) (青山、三九〇五)	
米	同	同	F. D. Jordan	同七、六六	同(三、一一)	赤坂、榎坂、五	
米	同	海兵中尉	A. B. Lasswell	(未報告)	同(三、一〇)	同右	
米	同	中尉	H. E. Karner	同七、六六	同(三、一一)	本郷、元、(一、五文化アパートメント、小石川、二九三二)	
米	同	同	G. M. Richardson	同五、六二	同(三、一一)	澁谷、鉢山、(一、三) (青山、三九〇五)	
伊國	大使館附官	大佐	Alberto Ghe	同一〇、四一八	同九	帝國ホテル	
獨國	大使館附官	大佐	P. W. Wenneker	同一〇、四一〇	同九	澁谷、代々木山谷、(三、三) (四谷、七〇八二)	
中國	大使館附官	上校	劉田甫	大正八、五一五	同九	芝、三田小山、(三、三三六六)	
佛國	大使館附官	大佐	J. Rosati	昭和九、三二五	同一〇、五	赤坂、榎、(一、〇) (青山、四〇五九)	

備考 (一) 本表ハ武官就任ノ順序ニ依ル

- (二) 本表ノ外兼務トシテ海軍武官ノ職務ヲ執ルモノ
 波蘭國公使館附陸軍武官兼海軍武官 陸軍少佐 Prystolski (昭和二〇、二着任夫人アリ)
 羅馬尼國公使館附陸軍武官兼海軍武官陸軍中佐 G. Baglenco (昭和二〇、二着任)
- (三) 同空軍武官ニシテ海軍武官ニ準ジ取扱ヘルモノ
 英國大使館附空軍武官空軍中佐 R. W. Chappel (昭和二〇、一着任夫人アリ)
 麻布、北日ヶ窪、三一(赤坂 四三六)
- (四) 佛國大使館附空軍武官空軍少佐 M. Brnyere (昭和二〇、四着任夫人アリ)
 同陸軍武官ニシテ空軍武官ヲ兼務セルモノ
 伊國大使館附陸軍武官兼空軍武官陸軍參謀少佐 G. Scallio (昭和九、一一着任)

海軍公報

第二千五百九十三號

海軍大臣官房

昭和十年十月十八日(金)

○辭令



海軍軍醫學生ヲ免ス(前海軍省)

長谷川 芳平

海軍主計中佐 堤 恭二

第二課勤務ヲ命ス(前海軍省經理局)

○雜款

○司令掃海艇變更

第十一掃海隊司令ハ本月十四日司令掃海艇ヲ一時第十六號掃海艇ヨリ第十五掃海艇ニ變更セリ

○支那軍艦來航豫定

艦名 地名 着 發 記事
逸仙 基隆 十月三日 十月六日 福州ヨリ來航
備考 同艦ハ福建省主席陳儀臺灣博覽會觀覽ノ爲渡
臺スルモノナリ

○郵便物發送先

軍艦嚴島宛

十月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
十一月五日迄ニ同	佐世保
同 十二月二日迄ニ同	鹿兒島
其ノ後ハ	横須賀

○自今佐世保防備隊ニ於テ執務ス

(第二十九潜水隊)

○艦船所在

△印ハハホ
指定ヲ要セズ

○十月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、夕張、八雲、駒橋、
比叡、那珂、山口山城、五十鈴、多摩、
鳳翔、口島海、高雄、摩耶、愛宕、赤城、
神威

沖風、矢風、峯風、秋風、羽風、太刀風、
帆風、口湖、朧、曙、有明、夕暮、響、
雷、電、松風、朝風、春風、旗風、
富士▲、尻矢、青島、鳴戸

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島
天霧、朝霧、口漣、曉、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
呂五七、呂五九、伊二三、伊二、
伊一、伊三、伊五、伊四、伊六、
伊六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

(時雨)、(五月雨)
澤風▲

【館山】

春日

【神湊】

木曾、鬼怒
波風、野風、沼風、神風、夕霧、初雪

【大湊】

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、勝力、白鷹、

海軍公報 第三千五百九十三號

昭和十年十月十八日

一〇六一

大鯨、大井、三隈、龍驤、扶桑、伊勢、
青葉、衣笠、古鷹、神通、長鯨、天龍、
夕顔、菊、葵、白雲、白雲、薄雲、叢雲、
綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪、
呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、呂六八、呂六三、呂六四、
呂二七、呂二八、呂三三、伊二一、
伊二二、伊五二、伊五一、伊五八、
伊五七、伊五六、伊六九、伊六八、
伊五四、伊五三、伊五五、
掃七、掃八、掃一〇、掃九、掃一六、
掃一三

石廊、攝津、襟裳、室戸、間宮
(伊七)

【大阪】
加古▲

【神戸】
(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【神戶】
(掃一八)

【江田内】
平戸

【徳山】
知床

【舞鶴】
吾妻▲

若竹▲、吳竹▲、早苗

呂二六

(春雨)、(鴻)

加賀▲、霧島、宇治、常磐、八重山、妙高、

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

佐世保

長崎 馬公 鎮海 旅順 青島 上海 南京 九江 漢口

羽黒 夕風、島風、灘風、芙蓉 葦、菱 藤、薄 球磨 磐手、保津 浦風 二見、鳥羽、比良

那智、足柄、迅鯨、川内、出雲、能登島、
▷榛名、▷長良、名取、▷阿武隈、▷山良、
▷北上
梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、▷三日月、
菊月、夕月、望月、▷如月、彌生、卯月、
睦月、▷初霜、初春、子日、若葉、▷長月、
文月、水無月、皁月、▷疾風、追風、朝風、
夕風、▷楡、柿
呂二五、 呂二九、 呂三〇、 呂三一、
呂三二、 呂六〇、 呂六一、 呂六二、
呂六六、 呂六五、 呂六七、 伊六五、
伊六六、 伊六七、 伊六〇、 伊五九、
伊六三、 伊六一、 伊六二、 伊六四
▷初雁、眞鶴、千鳥、友鶴
敷島、早鞆、鶴見、佐多、野島
(白霧)、(伊七〇)

【長沙】 粵多
【宜昌】 熱海
【重慶】 堅田
【汕頭】 下運
【廣東】 嵯峨
【作業地】 掃一五、掃一四
膠州、朝日

【航海中】
淺間 (十三日大阪發―吳へ)
隱戸 (十四日「マニラ」發―徳山へ)
最上 (十七日横須賀發―吳へ)
淀 (十七日鳥羽發―吳へ)
▷安宅 (十七日漢口發―上海へ)
▷龍田 (十七日汕頭發―上海へ)
朝顔、刈萱、蓬、蓼 (十七日汕頭發―馬公へ)
萩 (十七日旅順發―吳へ)
洲崎 (十七日横須賀發―「タラカン」へ)
伊二四 (十八日二見發―長浦へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第二千五百九十四號

海軍大臣官房

昭和十年十月十九日(土)

○通牒

官房第四四二六號

昭和十年十月十九日

海軍省副官

在京各廳高等官殿

靖國神社例大祭ニ關スル件申進

來二十三日靖國神社例大祭ニ付當日午前八時三十分迄

ニ同社拜殿ニ參著相成度

服裝 武官ハ正裝、文官ハ大禮服

○辭令

海軍大佐 飯倉 克己

海軍航空本部ニ於ケル業務並ニ軍令部ニ於ケル編纂

事務ヲ囑託ス(并ニ海軍省)

○雜款

昭和十年十月十九日ヨリ十一月十四日迄臨時第二十三驅逐隊主計長被仰付(并同)

海軍主計少佐 保田 繁吉

○軍艦常磐行動豫定

地名 着

佐世保

長崎

佐世保

十月二十日
二十二日

○郵便物發送先

軍艦常磐宛

十月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

長崎
佐世保

○宿所並ニ電話番號變更

軍令部出仕 海軍中將 島田繁太郎 宅

澁谷區原宿一丁目二〇番地(電話 青山 八〇一九番)

0529

海軍公報 第二千五百九十四號 昭和十年十月十九日

○出發

歐米各
國出張

海軍中佐 圓山 英勅

青島
午後三時
橫濱發

龍田丸

○改姓

海軍造機大佐岩藤二郎ハ高原ト改姓ノ旨本月十日届出
タリ

一〇六四

○艦船所在

印(ハ)ホフ
指定ヲ要セズ

○十月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、夕張、八雲、比叡、
那珂、口山城、五十鈴、▽多摩、▽鳳翔、
口鳥海、高雄、摩耶、愛宕、▽赤城、神威、
沖風、矢風、峯風、▽秋風、羽風、太刀風、
帆風、▽潮、隴、曙、▽有明、夕暮、▽響、
雷、電、▽松風、朝風、春風、旗風、
富士▲、尻矢、青島、鳴戸

【長浦】

殿島
天霧、朝霧、▽漣、曉、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、
呂五七、呂五九、伊二三、▽伊二、
伊一、伊三、▽伊五、伊四、伊六、
▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

(時雨)、(五月雨)

【館山】

澤風▲

【大湊】

木曾、鬼怒

▽波風、野風、沼風、神風、夕霧、初雪

【吳】

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、淺間▲、勝力、
白鷺、大鯨、大井、最上、三隈、龍驤、
扶桑、伊勢、▽青葉、衣笠、古鷹、▽神通、

長鯨、▽天龍

▽夕顔、菊、葵、▽白雲、▽白雲、薄雲、叢雲、
▽綾波、敷波、浦波、▽東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、▽呂六八、呂六三、呂六四、
▽呂二七、呂二八、呂三三、▽伊二一、
伊二二、▽伊五二、伊五一、▽伊五八、
伊五七、伊五六、▽伊六九、伊六八、
▽伊五四、伊五三、伊五五

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▽掃一五、
掃一四、掃一六、掃一三

石廊、攝津、襟裳、室戸、間宮、朝日

(伊七)

【大 阪】

加古▲

(村雨)、(掃一七)

【神 戶】

(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【玉 子】

(掃一八)

【江 田 内】

平戸

【德 山】

知床

【舞 鶴】

吾妻▲

▽若竹▲、吳竹▲、早苗

呂二六

(春雨)、(鴻)

【佐世保】

加賀▲、霧島、宇治、常磐、八重山、妙高、
那智、足柄、迅鯨、川内、出雲、能登呂、

▽榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良、
 ▽北上
 梨、竹、榧、桃、柳、櫻、檜、▽三日月、
 菊月、夕月、望月、▽如月、彌生、卯月、
 睦月、▽初霜、初春、子日、若葉、▽長月、
 文月、水無月、皁月、▽疾風、追風、朝風、
 夕風、▽楡、柿
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、
 呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六六、呂六五、呂六七、▽伊六五、
 伊六六、伊六七、▽伊六〇、伊五九、
 伊六三、▽伊六一、伊六二、伊六四
 ▽初雁、眞鶴、千鳥、友鶴
 敷島▲、早鞆、鶴見▲、佐多▲、野島
 (白鷺)、(伊七〇)
 長崎 羽黒
 馬公 ▽沙風、夕風、島風、灘風、▽芙蓉、朝顔、
 劉萱、蓬、蓼
 鎮海 ▽董、葦、菱
 旅順 ▽葛、藤、薄
 青島 ▽球磨
 上海 ▽磐手、保津
 南京 梅
 九江 浦風
 漢口 二見、鳥羽、比良

【長沙】 勢多
 【宜昌】 熱海
 【重慶】 堅田
 【汕頭】 ▽逆
 【廣東】 嵯峨
 【作業地】 駒橋
 膠州

【航海中】
 隠戸 (十四日「マニラ」發―徳山へ)
 淀 (十七日鳥羽發―吳へ)
 ▽安宅 (十七日漢口發―上海へ)
 ▽龍田 (十七日汕頭發―上海へ)
 萩 (十七日旅順發―吳へ)
 洲崎 (十七日横須賀發―「タラカン」へ)
 春日 (十八日神社發―大阪へ)
 ▽伊二四 (十八日二見發―長浦へ)
 栗 (十九日漢口發―南京へ)

(部内限三頁)



海軍公報

第二千五百九十五號

昭和十年十月二十一日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四四三五號

本年達第百三十號ニ依リ亀川海軍病院ヲ別府海軍病院
改稱ノ際現ニ同病院ノ職員タル者ハ別ニ辭令等ヲ用
ヒテ別府海軍病院ノ各相當職員ニ補セラレタル義
ト心得ベシ

昭和十年十月二十日

海軍大臣

官房第四四四六號

昭和十四年官房第一八四八號
ニテ本號廢止

當分以內滿洲(關東州ヲ含マズ)ニ在ル部隊ニ在勤ス
ル者許可ヲ受ケ家族ヲ歸朝セシムルトキハ家族移轉料
ヲ支給ヲ停止シ爾後轉勤等ノ事由ニ依リ更ニ支給ノ事
實ヲ生ジタルトキ舊勤務地ヨリ新勤務地迄之ヲ支給ス

昭和十年十月二十日

海軍大臣

官房第四四四七號

左記ニ依リ臨時厨業講習ヲ施行ス
第四號ノ講習員ヲ派遣スルト共ニ其ノ官氏名ヲ海軍經
理學校長ニ通報スベシ

昭和十年十月二十一日

海軍大臣

記

一 講習科目

厨業管理及軍隊調理法

二 講習期間

昭和十年十二月四日ヨリ同十八日迄

三 場所

海軍經理學校

四 講習員

(イ)資格

主計兵曹長若ハ一、二等主計兵曹ニシテ將來
厨業ノ指導者トシテ適當ナル者

(ロ)員數

各鎮守府二名、舞鶴要港部、第一艦隊、第二艦隊各一名、海軍經理學校長ノ定ムル所ニ依ル、六代旅費、講習開始ノ前日東京着講習中校内ニ起臥セシメ終了當日發トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

○通牒

航本第三二三四號 昭和五年航本第五四七號別冊「海軍航空機(機體)基本部品制式」ヲ「海軍航空機基本部品制式」ニ改ムル 昭和十年十月十九日 海軍航空本部長 (省)(夜)

○訓令

海軍省出仕海軍少佐 田口 太郎 海軍省人事局ニ於テ服務スヘシ

同 同 松村 翠 海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ 同 海軍機關少佐 久安 房吉 海軍省教育局ニ於テ服務スヘシ(以上計同海軍大臣)

○辭令

○昭和十年十月十日(八) 任海軍書記 給六級俸 波江野 弘

海軍書記 波江野 弘 横須賀海軍軍需部附ヲ命ス(計同海軍省) 海軍燃料廠ニ於ケル燃料ニ關スル研究業務囑託 三井 啓策 自今部内限奏任官待遇トス(計同) 海軍少佐 田口 太郎 第一課勤務ヲ命ス(計同海軍省人事局) 山本 茂雄 土木業務ヲ囑託ス

艦船所在

十月二十一日午前十時調

横須賀

對馬、金剛、陸奥、夕張、八雲、比叡、那珂、戸山城、五十鈴、多摩、鳳翔、

鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威

沖風、矢風、峯風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、潮風、曙、有明、夕暮、響

雷、電、松風、朝風、春風、旗風

富士、尻矢、青島、鳴戸

(鈴谷)、(劍埼)

長浦

殿島、天霧、朝霧、漣、曉、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、伊二三、伊二、

伊一、伊三、伊五、伊四、伊六

伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

(時雨)、(五月雨)

浦賀

澤風、沼風

館山

野風、沼風

大湊

大泊、長門、矢矧、韓崎、日向、淺間、勝力、

淀、白鷺、大鯨、大井、最上、三隈、

龍巖、扶桑、伊勢、青葉、衣笠、古鷹、

神通、長鯨、天龍

夕顔、菊、葵、白雪、白雲、薄雲、叢雲、

綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪、

萩、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂六八、呂六三、呂六四、

呂二七、呂二八、呂三三、伊二一、

伊二二、伊五二、伊五一、伊五八、

伊五七、伊五六、伊六九、伊六八、

伊五四、伊五三、伊五五

掃七、掃八、掃一〇、掃九、掃一五、

掃一四、掃一六、掃一三

石廊、攝津、襟裳、間宮、朝日

(伊七)

大阪

加古、春日

神戸

(村雨)、(掃一七)

玉

(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

江田内

平戸

徳山

知床、隠戸

舞鶴

吾妻、若竹、吳竹、早苗

佐世保

(春雨)、(鴻)、加賀、霧島、宇治、八重山、妙高、那智、

足柄、迅鯨、川内、出雲、能登呂、榛名、

海軍公報 第二千五百九十五號 昭和十年十月二十一日

一〇七一

<p>【宜】長沙 熱海 【長】口 勢多 【漢】口 二見、鳥羽、比良 【九】江 浦風 【南】京 梅 【上】海 磐手、安宅、龍田、保津 【旅】順 葛、藤、薄 【鎮】海 葦、葦、菱 【馬】公 沙風、夕風、島風、灘風、朝顔、刈萱、蓬、蓼</p>	<p>【長】崎 羽黒、常磐 【馬】公 沙風、夕風、島風、灘風、朝顔、刈萱、蓬、蓼 【鎮】海 葦、葦、菱 【旅】順 葛、藤、薄 【上】海 磐手、安宅、龍田、保津 【南】京 梅 【九】江 浦風 【漢】口 二見、鳥羽、比良 【長】沙 熱海</p>	<p>▽長良、名取、阿武隈、由良、北上 梨、竹、樵、桃、柳、櫻、楡、三日月、 菊月、夕月、望月、如月、彌生、卯月、 陸月、初霜、初春、子日、若葉、長月、 文月、水無月、皐月、疾風、追風、 朝風、夕風、楡、柿 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、 呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、 伊六六、伊六七、伊六〇、伊五九、 伊六三、伊六一、伊六二、伊六四 ▽初雁、真鶴、千鳥、友鶴 敷島、早鞆、鶴見、佐多、野島 (白露)、(伊七〇)</p>
<p>【重慶】堅田 【油頭】遠 【廣東】嵯峨 【作業地】駒橋 膠州</p>	<p>【航海中】 洲崎 (十七日横須賀發「タラカン」) 伊二四 (十八日二見發「長浦」) 球磨 (十九日青島發「佐世保」) 木曾、鬼怒、波風、神風、夕霧、初雪 (十九日 大湊發「舞鶴」) 栗 (十九日漢口發「南京」) 赤城 (二十日横須賀發「佐世保」) 芙蓉 (二十日馬公發「油頭」) 室戸 (二十一日吳發「横須賀」)</p>	<p>【重慶】堅田 【油頭】遠 【廣東】嵯峨 【作業地】駒橋 膠州</p>

(部内限四頁)

海軍公報

第二千五百九十六號

昭和十年十月二十二日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第四四六七號

來十一月海軍特別演習並陸軍特別大演習終了後左記
範圍ノ者ニ對シ賜饌アラセラル

昭和十年十月二十二日

海軍大臣

一、

海軍特別演習ニ參加ノ海軍士官(候補生ヲ含ム)、海軍
特務士官及高等文官(待遇者ヲ含ム)

一、行幸又ハ海軍特別演習ニ關シ職務ヲ以テ鹿兒島
市、都城市、宮崎市ニ出張滞在在中ノ高等官

一、警衛艦ノ科長以上ノ者

一、海軍特別演習陪觀ノ海軍士官及高等文官

一、佐世保鎮守府司令長官

一、鹿兒島、宮崎兩縣下ニ在勤スル海軍士官、海軍特
務士官

○通牒

官房第四四六八號

昭和十年十月二十二日

海軍省副官

各廳長殿

滿洲國海軍關係旗章ニ關スル件通牒

先般滿洲國ニ於テ制定ノ海軍關係旗章別紙ノ通ニ有之
候條御了知相成度

(別紙一葉添)

海人第四號ノ一五七

昭和十年十月十八日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

海軍豫備士官現役志願願書ニ關スル

件照會

本年官房第四三三三號ニ依ル現役ニ服スルコトヲ志願

海軍公報 第二千五百九十六號 昭和十年十月二十二日

一〇七三

<p>スル者ノ願書ニハ左記各號記載ノ書類一通添附セシメラルル様御取計相成度</p>	<p>記</p>	<p>一 本籍地 二 父母戸主ノ氏名及其ノ現住地 三 妻(未入籍ノ者ヲ含ム)ノ氏名及其ノ入籍前ノ本籍地 四 妻(未入籍ノ者ヲ含ム)ノ父母、戸主ノ氏名及其ノ現住地</p>	<p>航本第三二七八號 八月三十一日航本第二六七七號中「海軍航空機(機體)圖面制式」ヲ「海軍航空機圖面制式」ニ改ム 昭和十年十月二十一日 海軍航空本部長</p>	<p>(昭和十年九月三日公報参照)</p>	<p>○辭令 海軍中佐 加藤 唯雄 總務部第一課勤務ヲ命ス(海軍航空本部)</p>
<p>○代表 來十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ノ儀行ハセラレ候ニ付テハ當日及翌日ノ臨時奉幣祭ニ海軍代表トシテ參列スベキ旨左記諸官ニ訓令セラレタリ</p>	<p>記</p>	<p>海軍中將 吉田 善吾 海軍大佐 代谷 清志</p>	<p>○司令掃海艇變更 第十一掃海隊司令ハ本月十九日司令掃海艇ヲ第十五號掃海艇ヨリ第十六號掃海艇ニ變更セリ</p>	<p>○軍艦白鷹行動豫定 地 名 着 吳 世保 十月二十四日 十月二十三日 佐 習地 十一月六日 十一月十三日 演 習地 十一月十四日</p>	<p>○驅逐艦萩行動豫定 地 名 着 吳 旅 順 十月二十日 十月十七日</p>

○郵便物發送先

軍艦白鷺宛

十一月五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

驅逐艦萩宛

當分ノ間

吳

追テ第十五驅逐隊宛書類ニシテ驅逐艦萩ノ參照
ヲ要スルモノハ當分ノ間同艦宛寫送付ノコト

○職務代理

海軍技術研究所長海軍造兵中將箕原勉出張不在中海軍
少將兼田市郎同職務ヲ代理ス(十月二十日)

○正誤

昨二十一日辭令欄中波江野弘ノ任官期日「十五日」
ハ「十八日」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、夕張、八雲、比叡、那珂、口山城、五十鈴、▷多摩、▷鳳翔、口鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威

沖風、矢風、峯風、▷秋風、羽風、太刀風、帆風、▷潮、朧、曙、▷有明、夕暮、▷響、雷、電、▷松風、朝風、春風、旗風、富士▲、尻矢、青島、鳴戸

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島

▷天霧、朝霧、▷漣、曉、狹霧、呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五八、呂五七、呂五九、▷伊二四、伊二三、▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、伊六、▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

(時雨)、(五月雨)

【館山】

澤風▲

【大湊】

野風、沼風

【吳】

大泊

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、淺間▲、勝力、淀、白鷹、大鯨、大井、最上、三隈、龍驤、扶桑、伊勢、▷青葉、衣笠、古鷹、▷神通、長鯨、▷天龍

▷夕顔、菊、葵、▷白雲、▷白雲、薄雲、叢雲、▷綾波、敷波、浦波、▷東雲、磯波、吹雪、萩

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▷呂六八、呂六三、呂六四、▷呂二七、呂二八、呂三三、▷伊二一、伊二二、▷伊五二、伊五一、▷伊五八、伊五七、伊五六、▷伊六九、伊六八、▷伊五四、伊五三、伊五五

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▷掃一五、掃一四、掃一六、掃一三

石廊、攝津、襟裳、間宮、朝日、(伊七)

【大阪】 加古▲、春日、(村雨)、(掃一七)

【神戸】 伊七一、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】 平戸、(掃一八)

【舞鶴】 隱戸、吾妻▲、▷若竹▲、吳竹▲、早苗、呂二六、(春雨)、(鴻)

【佐世保】 加賀▲、霧島、宇治、八重山、妙高、那智、足柄、迅鯨、川内、出雲、能登呂、▷榛名、

海軍公報 第二千五百九十六號 昭和十年十月二十二日

一〇七七

長崎 羽黒、常磐
 馬公 朝顔、刈萱、蓬、蓼
 鎮海 菫、葦、菱
 旅順 葛、藤、薄
 上海 磐手、安宅、龍田、保津
 南京 粟
 九江 浦風
 漢口 二見、鳥羽、比良
 長沙 勢多
 宜昌 熱海

長良、名取、阿武隈、由良、北上
 球磨
 梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、三日月、
 菊月、夕月、望月、如月、彌生、卯月、
 睦月、初霜、初春、子日、若葉、長月、
 文月、水無月、皁月、疾風、追風、
 朝風、夕風、楡、柿
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、
 伊六六、伊六七、伊六〇、伊五九、
 伊六三、伊六一、伊六二、伊六四
 初雁、真鶴、千鳥、友鶴
 敷島、早鞆、鶴見、佐多、野島
 (白露)、(伊七〇)

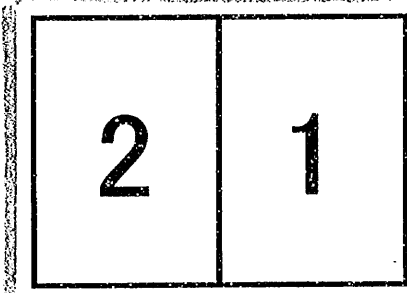
【重慶】 堅田
 【汕頭】 逆、芙蓉
 【廣東】 嵯峨
 【作業地】 駒橋
 膠州

【航海中】

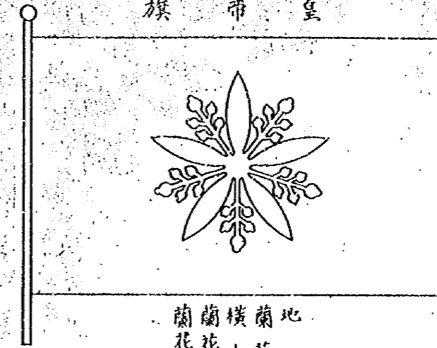
洲崎 (十七日横須賀發「タラカン」)
 木曾、鬼怒、波風、神風、夕霧、初雪 (十九日
 大湊發「舞鶴」)
 赤城 (二十日横須賀發「佐世保」)
 汐風、夕風、島風、灘風 (二十一日馬公發「佐世
 保」)
 室戸 (二十一日吳發「横須賀」)
 知床 (二十一日徳山發「神戸」)
 梅 (二十二日南京發「上海」)

(別紙一葉、部内限二頁、同別紙四葉)

分割撮影ターゲット

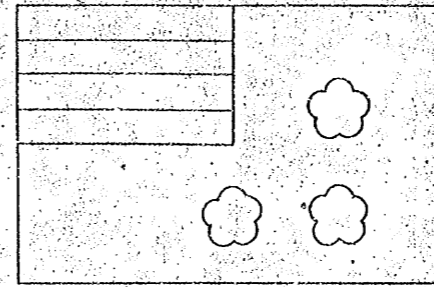
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	昭和10年10月22日 公報別紙
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

旗 帝 皇



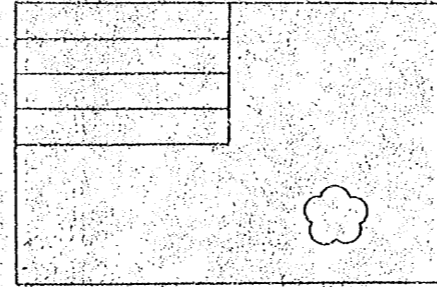
地色 藍色
梅花紋章 黄色
横寸法 縦一五倍
梅花紋章心 旗面中心
梅花紋章全徑 縦三分二

旗 將 上 軍 海



軍艦旗ノ右上半ヲ黄色ニ改メタル
モリニ藍色ノ梅花ヲ加フ
梅花ノ寸法 外徑 縦幅五分一
内徑 外徑ノ三分二
梅花ノ位置 梅花 中央縦線上
下縁ヨリ四分一
第一花 對角線上
右ノ隅ヨリ四分一
第二花 梅花ノ上
方 横幅四分一

旗 將 少 軍 海



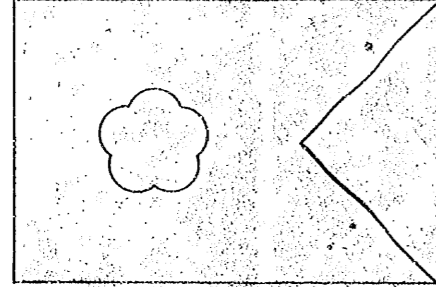
梅花ノ數 一箇
梅花ノ位置 對角線ノ右下隅
ヨリ四分一
其他海軍上將旗ト同シ

旗 長



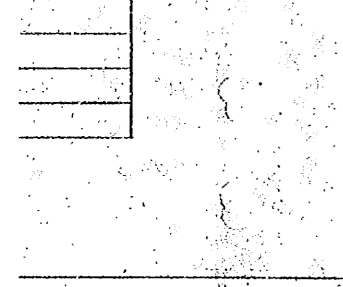
横幅 縦幅ノ四乃至九十倍
頭部ノ海軍上將旗ノ梅花ヲ
除キタルモノト同シノ其ノ他
部分ハ白色

旗 任 先



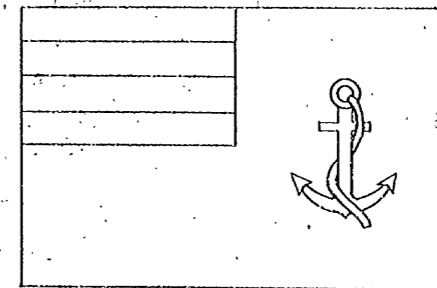
横幅 縦幅ノ一倍半
燕尾 横幅三分一上下均分
地色 藍色
梅花 紅
梅花ノ寸法 外徑 縦幅五分
一内徑 外徑ノ
三分二
梅花ノ位置 中央縦線上三分二

旗 首 艦



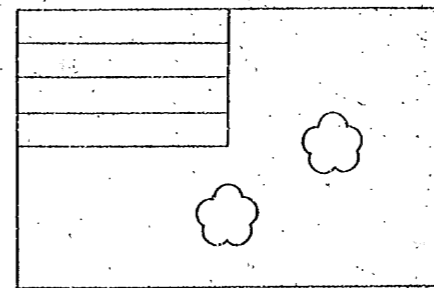
國旗ト同シ

旗 巨 大



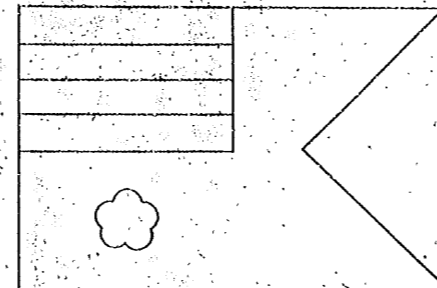
軍艦旗ノ右上半ヲ黄色ニ改メタル
モリニ藍色ノ錨一箇ヲ加フ
錨ノ寸法 高シ 縦幅三分一
底 横幅四分一
錨ノ位置 錨底ヲ對角線上
右下隅ヨリ四分一ノ所ニ置ケ

旗 將 中 軍 海



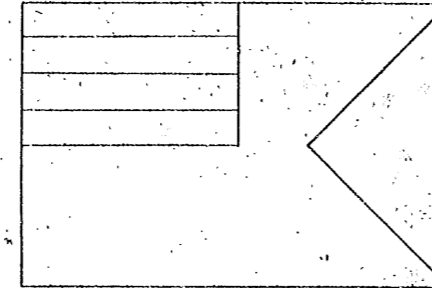
梅花ノ數 二箇
梅花ノ位置 第一花 中央縦線上
下縁ヨリ四分一
第二花 中央縦線上
右ノ隅ヨリ四分一

旗 將 代



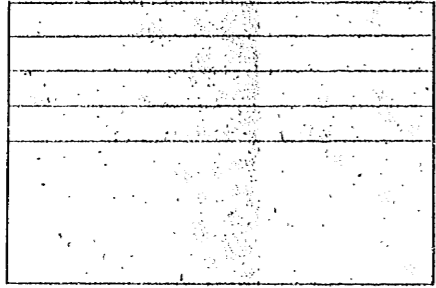
燕尾 横幅三分一上下
均分
梅花ノ數 一箇
梅花ノ位置 四等分ノ左縦線
上下縁ヨリ四分一
其他海軍上將旗ト同シ

旗 令 司



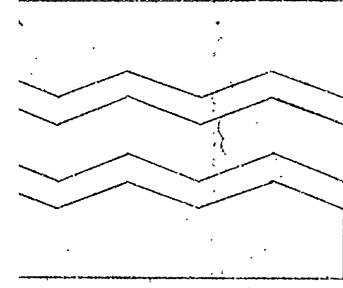
燕尾 横幅三分一上下均分
其他海軍上將旗ノ梅花ヲ
除キタルモノト同シ

旗 艦 軍



横幅 縦幅ノ一倍半
五色 上半ヲ紅藍白黒ノ
四色トシ下半ヲ黄
色トナス

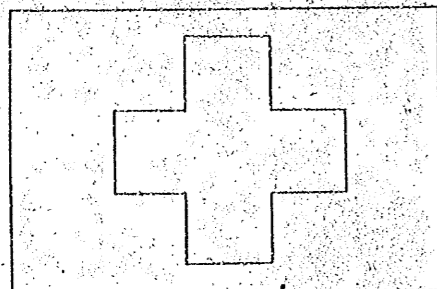
旗 直 當



横幅 縦幅ノ一倍半
地色 紅
山形 白
山形ノ形状位置 幅 縦幅ノ
十分一 山頂ノ高シ 縦幅ノ
十分一 兩山形ノ間隔
縦幅ノ五分一ニシテ中央
ニ於テ三箇ノ山形ヲ連接

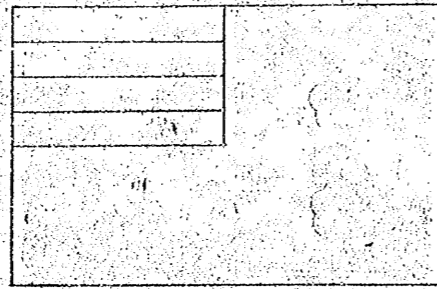
昭和十年十月二十日公報別紙

旗字十赤



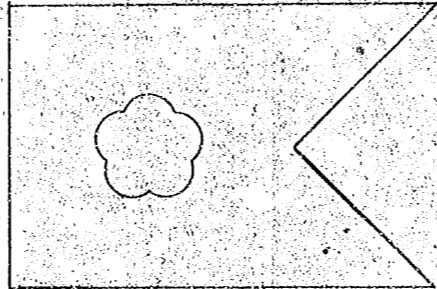
横幅 縦幅一倍半
地色 白
十字 紅
十字形状位置 縦横横直
同シ其長少縦幅十分三
八其幅縦幅十分三
シテ旗面中心ニアリ

旗首懸



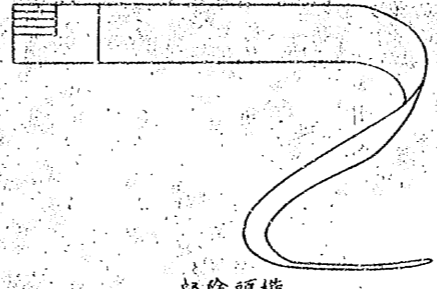
國旗ト同シ

旗仕先



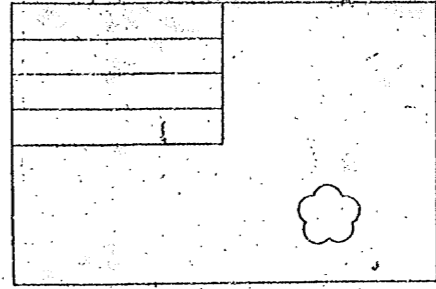
横幅 縦幅一倍半
燕尾 横幅十分一上下均分
地色 黃
梅花 紅
梅花大分 外徑 縦幅十分三
分二 内徑 外徑
梅花位置 中央横線上二分一

旗長



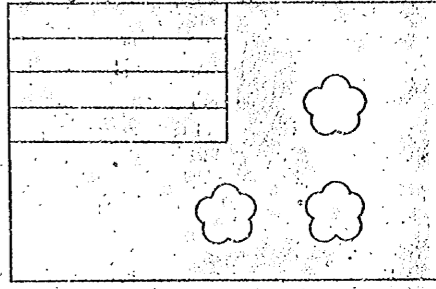
横幅 縦幅四分乃至九十分
頭部ニ海軍上將旗 梅花ヲ
除キタルモノト同シ其ノ他
部分ハ白色

旗將少軍海



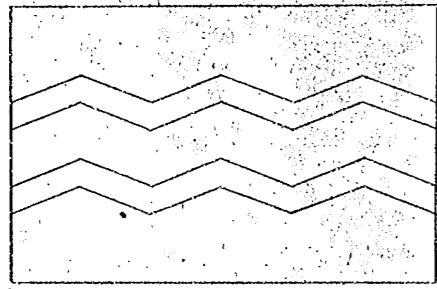
梅花ノ数 一箇
梅花ノ位置 對角線上右ノ内
ヨリ四分一
其他海軍上將旗ト同シ

旗將上軍海



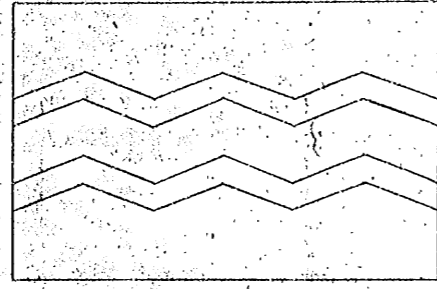
軍艦旗ノ上半ヲ黄色ニ改メ
シテ紅色ノ梅花ヲ加フ
梅花ノ数 外徑 縦幅十分一
内徑 外徑 十分二
梅花ノ位置 中央縦線上
下線ヨリ四分一
右ノ内ヨリ四分一
第三花 對角線上
右ノ内ヨリ四分一
第一花 第二花 上
方横幅十分一

旗船用軍



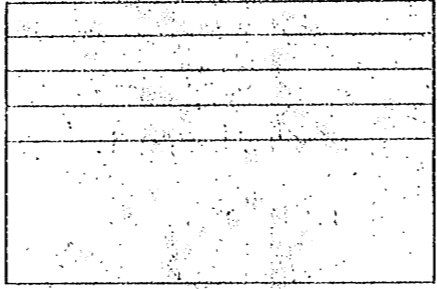
横幅 縦幅一倍半
地色 黃
山形 黒
其他當直旗ト同シ

旗直當



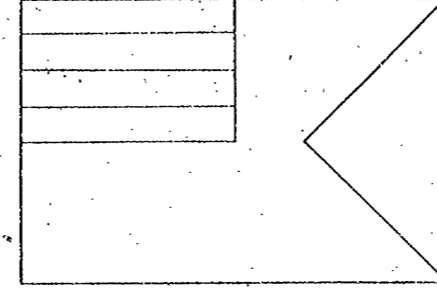
横幅 縦幅一倍半
地色 紅
山形 白
山形ノ形状位置 幅縦幅ノ
十分一 山頂ノ高シ 縦幅ノ
十分一 兩山形ノ間隔
縦幅ノ五分一 三ツテ中央
ニ於テ三箇ノ山形ヲ連接
ス

旗艦軍



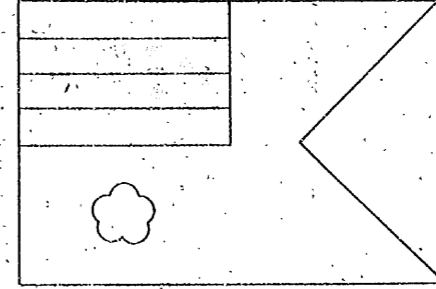
横幅 縦幅一倍半
五色 上半ヲ紅眞白黒ノ
四色トシ下半ヲ黄
色トス

旗令司



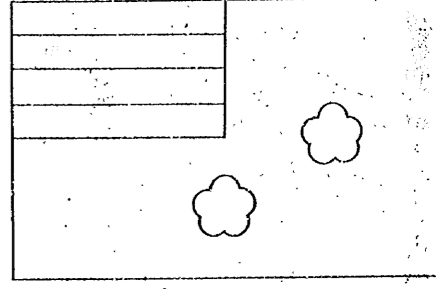
燕尾 横幅十分一上下均分
其他海軍上將旗ノ梅花ヲ
除キタルモノト同シ

旗將代



燕尾 横幅十分一上下
均分
梅花ノ数 一箇
梅花ノ位置 四等分ノ左縦線
上下線ヨリ四分一
其他海軍上將旗ト同シ

旗將中軍海



梅花ノ数 二箇
梅花ノ位置 中央縦線上
下線ヨリ四分一
第一花 中央横線上
右ノ内ヨリ四分一
其他海軍上將旗ト同シ

海軍公報

第二千五百九十七號

海軍大臣官房

昭和十年十月二十四日(木)

○令達

官房第四四八〇號

來十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭當日ニ於ケル職工ノ服業取扱ヲ左ノ通定ム

昭和十年十月二十四日

海軍大臣

記

- 一、適宜指定ノ時刻ニ職工ヲ出業セシメ遙拜式終ツテ遷座祭ニ關聯セル講話施行後終業トシ賃錢金額ヲ給ス但シ賞與加給ハ支給セズ
- 二、緊急已ムヲ得ザル業務ノ爲當日作業ニ從事セシメタル職工ニ對シテハ前項賃錢ノ外始業ヨリ終業迄ノ時間ニ對シ海軍工務規則第四十二條第一項ニ準ジ賃錢ヲ支給シ併セテ賞與加給ヲモ支給ス但シ遙拜式講話ニ出席シタルト否トニ拘ラズ之ガ施行ニ要シタル時間ハ控除スルモノトス

- 三、定時間外服業者ニ對スル海軍工務規則第四十一條第二項、第三項及第四十二條第二項ノ給與ニ付テハ平常日服業ノ始終時限ニ依リ計算ス
- 四、鐵夫、常備人夫及期間ヲ定メ繼續傭入中ノ人夫ニ付テハ前各號ニ準ジ取扱フコトヲ得

○辭令

從七位勳六等 鬼頭榮三郎
 横須賀海軍軍需部ニ於ケル事變關係業務ヲ囑託ス
 但シ報酬月額百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(計官海軍省)

海軍少佐 松村 翠
 第一課勤務ヲ命ス(計官海軍省軍務局)

○雜款

○命名式舉行

海軍公報 第二千五百九十七號 昭和十年十月二十四日

一〇七九

左記ニヨリ報國號飛行機ノ命名式ヲ舉行セラル

一、飛行機番號名稱其ノ他

報國號番號 名稱 機種 製造資金獻納者

報國第六五號 教育號 九四式艦上機 全國聯合小學校教員會

二、日時(開式時刻)

十月三十日(水曜)晴雨ニ不拘)午後一時

三、場所

遞信省東京飛行場(東京市蒲田區羽田江戶見町)
(海軍省副官)

○軍艦那珂行動豫定

地名 着 發

横須賀 十月三十一日 十月三十日

名古屋 十一月二日

横須賀 十一月三日

○郵便物發送先

軍艦那珂宛

十月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

十一月一日迄ニ 熱田

其ノ後ハ 横須賀

軍艦三隈宛

十月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 長崎

豫備役海軍大尉正七位田中健介本月十八日山口縣
厚狹郡厚南村梅本病院ニテ死去セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、夕張、八雲、比叡、那珂、口山城、五十鈴、多摩、鳳翔、

口鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威

沖風、矢風、峯風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、潮風、曙、有明、夕暮、響

雷、電、松風、朝風、春風、旗風

富士、尻矢、青島、鳴戸、室戸

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

天霧、朝霧、漣、曉、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、伊二四、伊二三、

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六

掃六、掃五、掃三、掃二、掃四

(時雨)、(五月雨)

【浦賀】

澤風、野風、沼風、大泊

【館山】

長門、矢矧、韓崎、日向、淺間、勝力、

淀、大鯨、大井、最上、三隈、龍驤、扶桑、

伊勢、青葉、衣笠、古鷹、神通、長鯨、

天龍、夕顔、菊葵、白雪、薄雲、叢雲、

綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪、

萩

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二七、呂二八、伊五八、

伊五七、伊五六、伊六八、伊五四、

伊五三、伊五五

掃七、掃八、掃一〇、掃九

石廊、攝津、間宮、隱戸

(伊七)

加古、(掃一七)

(村雨)、(掃一七)

(伊七一)、(伊七三)、(伊七三)

(掃一八)

平戸、春日

襟裳

吾妻、鬼怒

若竹、吳竹、早苗、夕霧、初雪、

波風、神風

呂二六

(春雨)、(鴈)

加賀、霧島、宇治、八重山、妙高、那智、

足柄、迅鯨、川内、常磐、出雲、能登呂、

榛名、長良、名取、阿武隈、山良、

赤城、北上、球磨

梨、竹、榎、桃、柳、檜、檜、三日月、

菊月、夕月、望月、□如月、彌生、卯月、
 睦月、□初霜、初春、子日、若葉、□長月、
 文月、永無月、皁月、□疾風▲、追風▲、
 朝風、夕風、□楡、柿
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、
 呂三二、□呂六〇、呂六一、呂六二、
 □呂六六、呂六五、呂六七、□伊六五、
 伊六六、伊六七、□伊六〇、伊五九、
 伊六三、□伊六一、伊六二、伊六四
 □初雁、真鶴、千鳥、友鶴
 敷島▲、早鞆、鶴見、佐多▲、野島
 (白露)、(伊七〇)
 羽黒▲
 馬公 朝顔、刈萱、□蓮、蓬、蓼
 鎮海 □莖、葦、菱
 旅順 藤
 芝罘 薄
 上海 □安宅、保津
 南 栗
 九江 浦風
 漢口 二見、鳥羽、比良
 長沙 勢多
 宜昌 熱海
 重慶 堅田

【汕頭】□芙蓉
 【廣東】嶺峨
 【作業地】駒橋
 膠州
 【航海中】
 洲崎 (十七日横須賀發「タラカン」へ)
 □汐風、夕風、島風、灘風 (二十一日馬公發「佐世保」へ)
 嚴島 (二十二日長浦發「佐世保」へ)
 □磐手 (二十三日上海發「佐世保」へ)
 □龍田 (二十三日上海發「基隆」へ)
 白鷹、□掃一六、掃一五、掃一四、掃一三 (二十三日吳發「佐世保」へ)
 木曾 (二十三日舞鶴發「室蘭」へ)
 □葛 (二十三日旅順發「青島」へ)
 知床 (二十三日神戸發「横須賀」へ)
 呂三三、□呂六八、呂六三、呂六四、□伊二二、
 伊二二、□伊五二、伊五一、□伊六九、朝日 (三十四日吳發「神戸」へ)

(部内限一頁)